



学光台の薰風

『学長に就任して 考えること』

学長 口バート・カニンガム



学生の内なる開発

北陸学院大学での私の第一の夢は、自分で考えることのできる学生を育てることであります。あの福島での災害のとき、日本人は自分で素早く的確に考えることができず、会議しても決定できず、最悪の結果になってしまいました。解決策を議論する会議を持つよりも重要なことは、危機管理であり、それぞれ自分で考えることができます。

私が学んだこと、例えばフランス語、ギリシャ語、ヘブル語、世界史、哲学、心理学、社会学など大部分忘れてしまっています。これらの年月は無駄だったのでしょうか？いいえ、絶対そんなことはありません。大学教育の中で、私は学ぶことに対する態度、自分で考える訓練をすることができたからであります。ソクラテスは「教育の目標は、器一杯に何かを入れることではなく、学ぶ者にやる気を起こさせることである」と言っています。

私の第二の夢は、北陸学院の学生が国際人になることです。確かに日本は国際的な国になっています。日本人は、訪問したり、勉強したり、働くために海外に行っています。国際的なつながりの中で自信をつけて欲しいのです。この目的のために、私たちはまたアメリカでのホームステイの企画を提供しています。研究で分かったことですが、海外で過ごす時間は、たとえ短くとも、人生に広い見方を与えてくれるのです。学生が国際人になるのに役立つもう一つの手段は、国際的な歌を歌うことです。最近、有名なゴスペルシンガーのラニー・ラッカー氏の支援をお願いしました。その学びの中で英語でだけではなく、黒人文化も学びます。学生が他の文化との関係を持つことで、さらなる自信をつけるのにも役立つことを信じています。

学生の外なる開発

私は最近日本人の習慣についての本を読んでショックを受けました。もっと正確に言いますと、日本人は他の人に与える習慣が欠如しているのです。『ワールド・ギギング・インディックス』という信頼できる本があります。日本人は貯蓄率では世界のトップ5の中

に入るので、与えるという点では世界で119番目に位置している。日本の人口の17%だけしかお金を他の人に与えていません。人口の23%だけが時間をボランティアとして様々な機関に捧げています。25%だけしか外国人を助けていません。オーストラリアを例として比較してみましょう。オーストラリア人は日本人より収入は少ない状況にも関わらず、人口の70%がお金を出しています。これは日本人の教育の高さが生み出してきた結果なのでしょうか？日本人は他の人に与えない民族なのでしょうか？何かが欠けているのではと思わずにはいられません。もし学生があまり他の人のことを考えないで、自分の幸福の事しか学ばないなら、北陸学院大学の教育は全く失敗だと考えていいでしょう。私たちの大学は定期的に学生ボランティアを東日本大震災の地域に送っています。私たちは家とか食べ物とか安全などの基本的な衣食住を手に入れてしまうと、さらにお金を持っていても、幸福が増えることにはならないのです。だからこそ日本人は幸福を失わずに、もっと沢山他の人に与える余地が残されていることを学ばなければなりません。

能登半島

教室というのは、本来アカデミックであり、理論的であり、多少は現実から隔離されたものであります。だからこそ地域に関わることが大切なのです。住民や教育や産業のために何が必要かを決定し、必要な分析をすることです。計画を立て、最終的にはこれらの必要なことに個人的に関わることであります。私も時間をかけて能登半島を旅する計画があり、食べ物や人々や温泉を楽しむ予定です。じかに何が起こっているのかを見てみます。そのことから私たちはその地域へ何に対しての貢献ができるかを考えることができます。

キャンパス

キャンパスにも夢があります。大学のチャペルにはセントラル冷暖房装置がありません。体育館も狭すぎます。もっと大きな体育館を持っていれば、スポーツも他の運動の活動ももっと沢山することができます。大学には女子の素晴らしいバスケットチームがありますが、他のスポーツも盛んになるのを見てみたい。バドミントン、テニス、バレーボールなど。今、次の10年、20年を私たちに順序立てて説明するマスター プランに取り組んでいます。

私たちは、皆さん同窓生のますますのご協力に感謝いたします。

ロバート・カニンガム(Robert A.Cunningham)学長 略歴

トリニティ国際大学大学院 博士（ミニストリィ）

1972(昭和47)～1991(平成3)年

国際福音宣教会（OMF）宣教師として日本で宣教活動

1975(昭和50)年～1980(昭和55)年

札幌市でアルコール依存者中間施設「青十字サマリヤ館」（現 社会福祉法人 青十字サマリヤ会 札幌市）設立に尽し、初代館長となる。

1991(平成3)～現在(アメリカ)

高機能障害成人のための施設設立に貢献

1992(平成4)年

モンゴル：アルコール依存症対策プログラムで厚生省の外国人アドバイザーとして活動

2013(平成25)年

アフリカ、ベニン：アクアフォニックス・プロジェクトを設立

その他、北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部との国際交流現地スタッフとして長年ご協力をいただいている。

名誉学長称号授与式

前学長三浦正先生に「名誉学長」の称号が贈られました。2013年3月11日の卒業感謝礼拝の席上で名誉称号記が授与されました。三浦先生の大学でのお働きに感謝申し上げます。



同窓生一

母校で学んだことを活かして、さまざまな場面で活躍されている8人の方々をご紹介します。

川渕 映子さん

1969年度卒業
保育科19回生



2011年3月20日より東日本大震災の物資配布炊き出しボランティアを始め、8月には支援組織『東北AID』を設立、現在も継続支援を行っています。

現地での支援活動(フリーマーケットやカフェ、音楽イベント、追悼供養など)の他、昨年7月には福島在住の親子(幼児～中学生)40名を富山へ3泊4日で招待し、富山の自然の中でゆっくり過ごしていただきました。遊びたい盛りの子どもたちは、外での活動が制限される上、仮設の風呂では十分に足を伸ばすこともできない、そんな生活が続いているからか、いちばん喜んでもらえたのはプールと温泉入浴でした。今年の夏休みにも計画しています。

また、「南三陸町サポーターズ」を立ち上げ、海産物販売配布や交流バスツアー優待による支援も始めました。

現地に出かけるごとに、支援活動をまだまだ継続していくなければ、東北の復興というよりも地域に住む人の日常生活の再興ができるないと感じます。これからも工夫を凝らしながら私たちにできることを一つひとつ積み上げていきたいと考えています。皆様の様々な形でのご協力をいただけましたら幸いです。

付記) 川渕さんの活動に対し、同窓会では蚤の市収益金より2011年度は200,000円、2012年度は100,000円を活動援助金として贈呈いたしました。併せて、救援物資を会員の皆様から募集し届けました。



歓迎会は賑やかに手巻き寿司



太閤山のプールで久しぶりの水遊び

同窓生一ing

吉田 紀子さん

1963年度卒業
北陸栄養専門学院10回生

20数年前にディーター先生が金沢・富山在住の卒業生の為にディジー会を作られました。その交わりの中で私はO姉より温熱療法を薦められ20年余り苦しんだ病より解放されました。またK姉の誘いで富山市婦人海外派遣団に参加しました。この経験で私は健康と勇気と自信を持ちました。五十路に入っていましたが温熱療法(血流とリンパの流れを良くし自然治癒力を高める治療)を学び療術師として施術所を持ちました。健康維持・病気の予防・術前術後の回復・アトピー・膠原病・脳梗塞による麻痺の緩和・腰痛・肩こり・痔病等、さまざまな患者さんの健康のお手伝いができ、元気になられたうれしい顔に出会うと幸せを感じます。患者さんから教わることが多く、毎日心地よく働いています。

4年前に細々と続いているディジー会を基にして同窓会富山支部ができ、新しい交わりの中で富山にしっかり根を張り活躍されている同窓生を見るにつけ、学院の偉大な働きに感動し、そこに連なることができ、若き日に主と出会い、生かされている事を教えていただいた学院に諸先生方に心より感謝しております。



2013年5月24日バイブルクラス。小堀康彦牧師を囲んで。(吉田さんは前列右)

岡田外志枝さん

1968年度卒業
英語科4回生

定年退職を感謝で!

44年前、英語科在学中の中学校教育実習で教員という仕事の面白さに気づき、自分の人生設計にはなかった道を進んでみたいという艶かな夢を感じ卒業した。しかし、夢へ真剣に向き合うこともなく流されるままに過ごしていたところ、友人の奮起に触発され、半年後、教員への道を目指すことにした。

2年半の挑戦で、卒業後3年目に新規採用となった。それ以来37年間、数々の貴重な体験や感動ある出会いなど、忘れる事のできない思い出の宝物ができた。特に新採の時の教え子が退職時に同窓会を開き、『あなたは…教員生活課程を卒業したことを証する』という卒業証書を手渡してくれた。初任と退任が同じ学校という不思議な縁も深い絆の一因だった。退職の年の3月31日深夜12時、無事学校を守ることができたお礼に校門の前で手を合わせ、感謝した。

4月からの生活は、時間を自由に使えるという有り難さを痛感し、好きな事をいっぱいさせて頂いている。勿論主人の母や実家の父母には大変世話になったので、恩返しのつもりでできるだけの支援をさせて頂いている。また、近隣の学校からはいじめ対策で呼ばれ、地域では人権擁護委員として相談や読み聞かせなどをしてささやかなお返しができる幸せを感じている。



思い出と共に大切な宝物となった『卒業証書』(岡田さんは最前列中央)

大西 敏子さん

1972年度卒業
教養科4回生



過日、新聞で北陸学院大学の学生有志が山形の保育園の支援のため野菜作りをしているとの報道を読みました。(北陸中日新聞2013年5月8日)

私が在籍したころ、教養科では毎土曜日が自然科学の畠仕事の時間でした。野菜や花を植え、雑草を取り、夏休みも水やり当番がありました。収穫した野菜を持ちかえるのは、丹精込めた結果で嬉しいのですが、バスに野菜を持って乗るのはちょっと恥ずかしかったです。

新聞記事を読んで、自分の学生時代を思い出すとともに、野菜を手作りする心が今も受け継がれているよううれしく思いました。

私はこの春、長年勤めていた北陸学院大学ヘッセル記念図書館を退職しました。三小牛に通うこと無くなり、今までどんなに豊かな自然に恵まれていたのかがよくわかりました。機会を見つけて、三小牛の自然に会いに行きたいと思っています。

同窓生一ing

米村 萌さん

2012年度卒業
コミュニティ文化学科7回生



コミュニケーション文化学科を卒業して、早くも約2ヶ月が経ちました。未だに学生気分が抜けないところがあったり、三小牛のキャンパスにまた通いたいと思うたりしながらも、新しい環境で一生懸命働いています。

私がコミュニケーション文化学科に入学したのは、図書館司書資格を取りたいと思ったからです。高校3年生の時、学校司書の方に図書館司書の道を提案されたのがきっかけでした。もともと本が好きだったため、悩むことなくその道に進むことを決めました。コミュニケーション文化学科での学生生活は想像以上に楽しかったです。自分の好きなことを勉強できるというのは勿論、沢山の方と知り合い、コミュニケーションをとることが出来ました。そして、今までで一番積極的に活動できていました。本当に楽しく、有意義なものでした。

私はいま、ずっと希望していた図書館で働いています。まだ分からないことの方が多いですが、コミュニケーション文化学科での学びを生かし楽しく働きたいです。

島津 宏さん

2012年度卒業
社会福祉学科

現在、私は長野県にある就労継続支援A型事業所で職業指導員として働いています。職業指導員などと肩書きはしっかりともののように思えますが、実際は、事業所が行っているパン屋さんで利用者(当事業所では、スタッフと呼んでいます)達と一緒にパンの製造、販売を中心に行ってます。スタッフと直接関わり、働くためのよりよい環境を作ろうとしていると思うと何かの役にたてていると実感できるためとても楽しいです。

私自身、まだまだ他の職員やスタッフ達に比べて、仕事ができているとは言えないため、ほぼ「根性」と「気合」で頑張っていると言った状態です。しかし、このように頑張っていられるのも、大学で学んだ福祉に関する知識や、学友会の会長を勤めさせていただいた時に身に付いた自信など大学で培ったモノ。そして何より大学で出会った先生達や仲間たち共有してきた様々な経験があるからだと言い切れます。長野県といった私にとっては新しい土地で不安に感じこともありますが、大学で得たものを思い出し自分の糧として、社会人として、また福祉を学んだ者として人の役に立っていきたいです。



パン作りを通して、学びを活かし貢献、頑張っています！

土山紗智子さん

2011年度卒業
幼稚児童教育学科

入学してから卒業するまさにその日まで、幼教1期生として全力で駆け抜けた4年間。毎日の講義に加え、クラブ活動、オープンキャンパススタッフ、大学祭の企画・運営など、自分でも欲張りだなと思うくらい様々なことに取り組み、本当に充実した日々を北陸学院大学で送りました。

昨年、石川県教員採用試験に合格し、今年4月から新規採用教職員として金沢市内の小学校で3年生の担任をさせていただいている。授業の準備、研修への参加、日々の行事・会議…学生時代の想像をはるかに超える忙しい毎日です。しかし、子どもたちの顔を見ると、不思議と疲れが吹き飛びます。「よし、今日もがんばろう！」と。日々勉強、日々感謝だと思っています。

様々なことを相談し合えるかけがえのない仲間たち。卒業して1年以上経つ今もなお、こまめに連絡をくださる心厚い教職員の方々。学生時代に積み重ねた経験と、ミッションのみなさんとのつながりを大切に、心豊かな教師として成長していくようこれからも頑張っていきます。



子どもたちの意欲も元気の源の一つ。

真田有基子さん

2012年度卒業
幼稚児童教育学科

私たち幼稚児童教育学科2期生は45人という少人数の学年で、その為か一人ひとりの関係も密であり、栄光祭等の行事が大好きな団結力の強い学年でした。実習や就職活動等の不安で押しつぶされそうになったときも皆で支え、励まし合いました。私にとって心から信頼できる仲間に出会い、そして、どのようなことも温かく受けとめご指導下さった先生方のもので過ごした4年間は、かけがえのない大切な宝物です。

今春からは、長年の夢であった幼稚園教諭としての第一歩を踏み出しました。自分の未熟さを痛感する毎日ですが、尊敬する先輩方と子ども達の輝く笑顔に囲まれ充実した日々を過ごしています。また、何気ない日常のなかで子ども達の成長を間近に感じ、喜びや感動を与えられることが何よりの幸せです。

これからも北陸学院大学で学び育ってきたことを基盤とし、子ども達の純真な気持ちに深い愛情をもって寄り添うことが出来る幼稚園教諭を目指し、日々精進してまいりたいと思います。



卒業式。4年間を共にした仲間と。
(真田さんは左側1人目)

大学・短大通信



北陸学院大学 北陸学院大学短期大学部

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11 TEL 076-280-3850 FAX 076-280-3851
URL: http://www.hokurikugakuin.ac.jp

◆ 卒業してもヘッセル記念図書館を利用できます！

住所を確認できるもの（健康保険証等）と、利用証発行手数料200円をお持ちください。1年間有効の『図書館利用証』を発行いたします。来館のつど、『利用証』を司書にお見せください。

- ・貸出期間 2週間
- ・貸出冊数 5冊以内

皆さまの、学ぶ気持ちを生涯、応援いたします。

◆ お子さん・お孫さん対象の減免制度があります！

北陸学院大学・短期大学部では、同窓生のお子さんやお孫さんが本学に入学すると入学金（20万円）の25%（5万円）が免除されます。

◆ オープンキャンパス & 学校見学会

・オープンキャンパス日程

7月15日(祝・月) 7月20日(土) 8月4日(日)
8月17日(土) 9月14日(土) 12月14日(土)

・「学校見学会」

今年度も開催しています。ショートプログラムで、気軽に参加できます。

7月6日(土) 8月9日(金) 8月26日(月) 9月28日(土)
10月19日(土) 10月26日(土) 11月23日(祝・土)
12月26日(木)

いずれも 午前 10:30-12:00、午後 1:00-2:30
(一日2回開催)

◆ 基礎から直前対策まで完全サポート！

今年度も『管理栄養士国家試験受験対策講座』を計画しております。昨年度に続き、昼の部・夜の部の2部開催です。日程等の詳細は随時本学ホームページに掲載して参りますのでご覧下さい。

場 所：北陸学院大学 他

参加費用：本学卒業生は無料ですが、教材費及び資料代が必要になります。

◆ 今年も高島屋で新作発表！ 北陸学院大学スイーツ研究所

新宿高島屋の名物催事であり、大学から生まれたブランド食品を紹介・販売する「『大学は美味しい!!』フェア（5月29日～6月4日）」に、北陸学院大学スイーツ研究所が3年連続で出店しました。（参加学生：食物栄養学科15名、幼児児童教育学科2名）

今年のスイーツ研究所のテーマは「地元企業とのコラボレーション」。地元石川に創業100年の歴史を持つ、繊維・工作機械の大手メーカーである津田駒工業株式会社（グループ会社のツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社）が、無菌室で無農薬・水耕栽培した「アイスプラント」の乾燥パウダーを利用して、「アイスプラントのチョコレートタルト」と「アイスプラントとトマトのマフィン」2つのスイーツを開発し販売しました。この商品の開発には歴代の先輩方も挑戦しましたが、完成まで至りませんでした。今年の学生は先輩たちの期待に応えるべく、昨年の秋頃から研究・試作を重ね、ようやく成果発表することができました。

そのほか、従来からの加賀野菜を使用したスイーツを含め全5品を販売し、大変盛況に終了いたしました。



沢山の方が興味を持って足を止めて下さいました！



全国から選ばれた国公私立34大学が成果を発表し合いました。

教員の異動

〈退職〉

- ・三浦正（学長）、畠山祥正、福井逸子（幼児児童教育学科）
- ・間部豊（コミュニティ文化学科）
- ・ギャビン・リンチ、モーリン・マキュールタン（社会学科）

〈新任〉

- ・ロバート・A・カニンガム（学長）
- ・岡本弘子（幼児児童教育学科助教）
- ・東海林涉（幼児児童教育学科助教）
- ・向出圭吾（幼児児童教育学科助教）
- ・沢田史子（コミュニティ文化学科准教授）
- ・若杉亮平（コミュニティ文化学科助教）

2013年度役員名簿

氏名	卒業学科	氏名	卒業学科	氏名	卒業学科
【名誉会長】ロバート・カニンガム	北陸学院大学学長	横江 栄子	保育学科	中島 明美	保育学科
【会長】相坂 国栄	栄養専門学院	俵屋 司代	保育学科	高岡 美佐子	保育学科
【副会長】麦田 久世	保育学科	坂野 和美	保育学科	新澤 祥恵	食物栄養学科
紙谷 千佳子	英語学科(英語コミュニケーション学科)	田中 里沙	保育学科	吉國 厚子	食物栄養学科
横江 悅子	教養学科	須田 雅美	食物栄養学科	原 裕子	食物栄養学科
西沢 歩美	人間福祉学科	三田 陽子	食物栄養学科	和田 祐子	英語学科(英語コミュニケーション学科)
米村 茗	コミュニケーション文化学科	安竹 恵	英語学科(英語コミュニケーション学科)	山下 いずみ	英語学科(英語コミュニケーション学科)
真田 有基子	幼児児童教育学科	奥野 章子	教養学科	近岡 啓子	教養学科
奥出 朋子	社会福祉学科	工藤 麻紀	人間福祉学科	馬場 裕美	教養学科
【書記】敷波 智子	食物栄養学科	江尻 紗花	コミュニケーション文化学科	鈴木 正美	教養学科
戸井 康子	教養学科	河合 彩	幼児児童教育学科	丹尾 有希子	人間福祉学科
【会計】菱田 陽子	英語学科(英語コミュニケーション学科)	堀内 未希	社会福祉学科	瀬戸 佳子	保育学科
森田 康子	保育学科	【幹事】森 正栄	保育学科	宮丸 慶子	食物栄養学科
【庶務】一川 夕子	教養学科	木村 美智子	保育学科		
【常任幹事】小川 和子	保育学科	吉田 若葉	保育学科		

2013年度 総会報告〈富山支部〉

2013年4月13日(土) 於 日本基督教団
富山鹿島町教会

2012年度 活動報告 (2012.4.1~2013.3.31)

2012年 4.14(土) 第3回北陸学院大学同窓会富山支部総会
於: 富山鹿島町教会 奨励: 小堀康彦牧師
出席者: 同窓生16名、本部3名、牧師1名
12. 8(土) クリスマス会 於: 富山鹿島町教会
奨励: 上田創牧師
出席者: 同窓生22名、本部2名、牧師2名
北陸学院大学ハンドベル部11名
鹿島町教会CS15名

※この間に4回の役員会を開催
※毎月第4金曜日にバイブルクラス(DG会)を開催 平均出席者7名

2013年度 活動計画 (2013.4.1~2014.3.31)

2013年 4.13(土) 第4回 同窓会富山支部総会 (13:30~)
於: 富山鹿島町教会
奨励 小堀 康彦牧師
12. 7(土) クリスマス会 (13:30~)
於: 富山鹿島町教会
奨励 小堀 康彦牧師

※月1回(毎月第4金曜日)バイブルクラス(DG会)を開催する。(8月は休会)
※必要に応じて役員会をもつ。

2012年度 収支決算報告書

自2012年4月1日 至2013年3月31日

(単位: 円)

科 目	2012年度予算額	2012年度決算額	備 考
繰 越 金	1,807	1,807	
運 営 費	100,000	100,000	同窓会本部より
クリスマス会費	12,500	12,000	500円×24名
雑 収 入	0	4	利息
合 計	114,307	113,811	

<支出の部>

科 目	2012年度予算額	2012年度決算額	備 考
行事活動費	103,000	96,553	
総会費	25,000	18,245	
クリスマス会費	53,000	53,508	
バイブルクラス	10,000	10,000	会場費(DG会)
その他活動費	15,000	14,800	ハンドベル、本部訪問補交通費
管理経費	9,500	14,447	
通信費	2,000	7,822	葉書、祝電、その他
事務運営費	2,500	1,825	事務用品、印刷、その他
会議費	5,000	4,800	役員会費等
予備費	1,807	0	
次年度繰越金		2,811	
合 計	114,307	113,811	

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。監査人: 中野 雄子
監査人: 影近伸子
2013年 3月 22日

2013年度 収支予算

自2013年4月1日 至2014年3月31日

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
前年度繰越金	1,807	2811	
運営費	100,000	100,000	同窓会本部より
クリスマス会費	12,000	12,500	500円×25人
雑収入	4	0	
合 計	113,811	115,311	

<支出の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
行事活動費	96,553	100,000	
総会費	18,245	20,000	
クリスマス会費	53,508	50,000	
バイブルクラス	10,000	10,000	会場費
その他活動費	14,800	20,000	コンサート、本部訪問補助等
管理経費	14,447	14,000	
通信費	7,822	7,000	葉書、祝電、その他
事務運営費	1,825	2,000	事務用品、用紙、印刷
会議費	4,800	5,000	役員会等
予備費	0	1,311	
次年度繰越金	2,811		
合 計	113,811	115,311	

2013年度富山支部役員・学科担当者

【役員】

支部長 吉田 紀子 栄養専門学院(10回生)
副支部長 吉崎 優子 保育学科(19回生)
書記 大房 和子 保育学科(22回生)
会計 吉川美紀子 食物栄養学科(5回生)
会計監事 小中 雄子 保育学科(2回生)
影近 伸子 保育学科(12回生)

【学科担当】(2013年3月現在)

保育学科 金山 昌子(3回生)
石田みどり(18回生)
川渕 映子(19回生)
田中真智子(26回生)
片岡菜穂子(29回生)
小杉 清恵(専修9回生)
上田富士恵(5回生)
川崎 正子(5回生)
斎藤 敏子(12回生)
福江千英里(22回生)

食物栄養学科

英語学科 (英語コミュニケーション学科) 中野 球子(1回生)
吉川 知子(4回生)
佐渡 和美(34回生)
教養学科 須田 賴子(5回生)
社会福祉学科 神田美帆子(2010年度卒業生)
中橋 美咲(2012年度卒業生)
古木 文(2012年度卒業生)

人間福祉学科、コミュニケーション文化学科、幼児児童教育学科は、今後お願いする予定です。

お誘いします

(富山支部より)

クリスマス会 日時: 2013年12月7日(土) 午後1時30分~
場所: 富山鹿島町教会 奨励: 小堀康彦牧師
松原葉子さんによるリードオルガン演奏もあります。

バイブルクラス 毎月第4金曜日 午後1時30分~

(DG会) 場所: YMCA 3階
富山の3教会の牧師先生を交互にお迎えし、聖書を学んでいます。

2013年度 総会報告〈本部〉

2013年5月11日(土) 於 レストランMEGU
出席者: 来賓10名、同窓会員45名 計55名

【総会次第】
礼拝 「後で分かるようになる」聖書 ヨハネによる福音書 13章1-11節
 学院長 楠本 史郎 先生
 握手 同窓会長 相坂 国栄

【議事】
第1号議案 2012年度活動報告および収支決算報告承認の件 監査報告
第2号議案 役員の選出および任命の件
第3号議案 2013年度活動計画案および収支予算案承認の件

2012年度 活動報告 (2012.4.1 ~ 2013.3.31)
 2012年 5.12(土) 第12回総会 (於: レストランMEGU) (全体会員に案内)
 第1部 礼拝と総会 奨励者: 楠本史郎学院長
 第2部 懇親会 (出席者: 来賓13名 同窓会員57名 計70名)
 「盆栽の松」販売 (編著者: 小林恵子氏出席)
 7. 2(月) 同窓会報「栄光台の薰風」第12号発行 (学院報とともに送付)
 10.25(木) 大学「栄光祭」同窓会賞授与式
 10.27(土) 蛍の市「栄光祭」と同時開催 (於: ライザー記念館1F)
 12. 1(土) クリスマス会 礼拝奨励: 日本基督教団全皿教会 小林隆史伝道師
 川渕映子さん (同窓生 NGO アジア子どもの夢) 代表
 東日本大震災のため救援活動中) が現地での活動を報告、同窓会螢の市收益金より¥100,000円を贈呈
 2013年 3.11(月) 同窓会入会式 (大学69名、短大128名、計197名+2名)
 ※この間に8回の役員会、4回の作業会、その他各担当者会などを行いました。
 ※11月には4名の同窓会員有志が大学礼拝奨励担当をしました。

【懇親会】

カニンガム学長ご夫妻のご挨拶、朝倉副学長による新任の先生方のご紹介やクラブ活動報告等、虹金学科長・僕学科長・真砂学科長・後藤田学科長・宮丸先生による大学・短期大学部の現状報告、岩田事務局長・木下事務長代理のご挨拶があり、母校の活気が伝わってきました。また、富山支部長や新役員の挨拶からは同窓生の確かな繋がりを感じました。



2013年度 活動計画 (2013.4.1 ~ 2014.3.31)

2013年 5.11(土) 第13回総会 於: レストランMEGU
 7. 1(月) 同窓会報「栄光台の薰風」第13号発行
 10.24(木) 大学祭開会式 礼拝 同窓会賞授与式
 10.25(金) 蛍の市 諸準備
 10.26(土) 大学祭(栄光祭) 蛍の市同時開催
 12.14(土) クリスマス会
 2014年 3.10(月) 卒業感謝礼拝に引き続き 同窓会入会式
 ※このほか、役員会を随時行います。

2013年度 収支予算

自2013年4月1日 至2014年3月31日
(単位: 円)

一般会計

<収入の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
前 年 度 緑 越 金	3,941,693	5,134,529	
入 会 金	3,495,000	2,985,000	終身会費 15,000円×199名
前 受 入 会 金	3,120,000	3,225,000	終身会費 15,000円×215名
総 会 会 費	75,000	82,500	
クリスマス会費	12,000	15,000	500円×55名
雄 収 入	45,000	60,353	利息、ファッショナーバー売上金、歓送迎会費他
合 計	10,688,693	10,577,046	

<支出の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
行 事 活 動 費	350,000	392,782	
総 会 会 費	200,000	184,620	
螢 の 市 費	30,000	30,000	
クリスマス会費	50,000	61,032	
そ の 他 活 動 費	70,000	117,130	富山支部訪問交通費、歓送迎会費補助他
会 報 費	600,000	445,821	
支 部 活 動 費	100,000	100,000	富山支部へ
管 理 経 費	1,050,000	1,008,914	
通 信 費	60,000	75,980	
事 務 運 営 費	700,000	665,838	事務用品、事務局人件費 587,700円 他
会 議 費	70,000	50,446	役員会費、茶菓代
備 品 費	200,000	199,500	パソコン1台購入
そ の 他 経 費	20,000	17,150	銀行手数料、資金庫代 15,600円など
慶弔 引 費	30,000	10,000	
積 立 金	500,000	500,000	特別会計②へ積立
銀 行 預 貯 金	0	0	
予 備 費	4,938,693	0	
次 年 度 運 営 費	3,120,000	2,985,000	
次 年 度 緑 越 金		5,134,529	
合 計	10,688,693	10,577,046	

特別会計①(奖学援助資金)

<収入の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
前 年 度 緑 越 金	4,824,770	4,704,586	
寄 付 金	500,000	391,113	螢の市売上金(183,341-100,000=83,341円) 奖学援助資金献金(263,635円) クリスマス席上献金(22,310円) 富山支部クリスマス席上献金(21,827円)
利 息	1,000	731	
合 計	5,325,770	5,216,614	* 東日本大震災救援活動援助金

<支出の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
獎 學 金	260,000	0	
ク ラ ブ 活 動 援 助 金	300,000	300,000	
同 窓 会 賞	40,000	37,028	5,000円×6名 領額代他(7,028円)
卒 業 記 念 品	200,000	175,000	キーホルダー 350円×500個
振 込 手 数 料	1,000	0	
次 年 度 緑 越 金	4,524,770	4,704,586	
合 計	5,325,770	5,216,614	

特別会計②(全体総会・周年記念準備金)

<収入の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
前 年 度 緑 越 金	1,312,693	1,812,901	
一 般 会 計 より	500,000	500,000	当年度積立金
全 体 総 会 会 費	0	0	
利 息	150	208	
合 計	1,812,843	2,313,151	

<支出の部>

科 目	2012年度決算額	2013年度予算額	備 考
全 体 総 会 費	0	260,000	
周 年 記 念 事 業 費	0	300,000	
次 年 度 緑 越 金	1,812,843	2,313,151	
合 計	1,812,843	2,313,151	

その他別途積立金 (2013年3月31日現在)

定期預金 17,901,777 (北國銀行)
 (金沢信用金庫 15,326,085)

定額貯金 10,155,407 (ゆうちょ銀行)

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。
 2013年 4月 18日

監査 佐々木 勝子
 濱戸 佳子

同窓会からのお知らせ

北陸学院大学同窓会のみいち蚤の市

栄光祭の一般公開に合わせて今年も秋に開催されます。

日時 2013年10月26日(土)

午前10時～ 売り切れ次第終了

場所 北陸学院大学キャンパス内 ライザー記念館

コーヒー、紅茶、手作りクッキー、ケーキもあります。懐かしい方々との再会をお楽しみ下さい。



献品にご協力下さい!

随时受け付けております

献品内容：日用雑貨品、衣類、手作り品等（新品のものをお願いします）

献品方法：同窓会事務局へ持参または郵送（北陸学院大学同窓会事務局宛）

川渕さん（2頁）の活動のために、衣類（クリーニング済み）、日用雑貨品などの支援物資もあわせて受け付けております。ご協力をお願いいたします。

クリスマス会

～喜びと感謝のひとときをご一緒に～

日 時：2013年12月14日(土)

午後1：30～(受付1：00～)

場 所：北陸学院大学キャンパス内
ライザー記念館

参加費：500円

皆様のご参加を
お待ちいたして
おります。

一感謝一 奨学援助金のための献金をお寄せいただいた方々（2012年7月～2013年6月）

三浦 正（前学長）	松本 征子（保育13）	新澤 祥恵（食栄6）
青島 博子（保育1）	川畑紀代美（保育18）	食物栄養学科 9回生・ クラス会出席者一同
秋山 星子（保育1）	保育学科22回生・ クラス会出席者一同	
小中 輝子（保育2）	クラス会出席者一同	中山よし子（食栄21）
小川 和子（保育4）	宮本 龍（美術）（保育58）	村本みゆき（食栄35）
齊藤 千代（保育4）	坂井 良子（栄専2）	敷波 智子（食栄38）
森 正栄（保育4）	高城 弘子（栄専6）	藤田 幸子（英語12）
神澤みな子（保育5）	相坂 国榮（栄専7）	神戸 敏恵（英語14）
高桑美千栄（保育5）	中村由美子（栄専7）	横山 康子（教養1）
江尻美根子（保育12）	西出 朝子（栄専8）	北野 陽子（教養2）
茶幡 昌子（保育12）	高井 明子（食栄4）	水 まゆみ（教養15）
中西 節子（保育12）	久木 嘉子（食栄4）	寺口 汐里（コミ文6）
	三井 玲子（食栄4）	サニーサイド

計 33名・2クラス会・1企業 総額 263,635円
ご芳名もれがございましたら事務局までお知らせ下さい。

同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せ下さい。

◇開室日：

毎週月・水・金曜日

◇開室時間：

午後1時30分～4時30分

◇事務担当：

一川 夕子（教養科22回生）

住所変更等のご連絡について

- ①氏名（旧姓） ②卒業学科名、年度、回生
- ③郵便番号、住所 ④電話番号

を明記の上、書面、ファックス、メールのいずれかでご連絡下さい。

町村合併に伴う住所変更については追い追い更新しておりますが、なかなか手が回らない面もありますので、お気づきの点がございましたらご一報下さい。お願いいたします。

※会員名簿については個人情報保護法に基づき、事務局で責任を持って管理しております。

『盆栽の松』について

会長 相坂 国栄

去る5月11日(土)に第13回同窓会総会を多数のご来賓の先生方ご臨席のもと、役員・回生委員が集い、豊かな恵みのうちに無事終了できましたことを心より感謝申し上げます。

『盆栽の松』は、昨年の総会から販売を始めましたが、今年3月までの販売状況は下表のとおりです。皆さまのご協力によりまして170冊販売することができました。まだ、600冊ほど在庫がありますので、今後も継続して販売いたします。



ライザー先生に直接教えをいたいた卒業生は限られていますが、北陸学院短期大学の初代学長であられたことを心に留めたいと思います。番匠鐵雄先生、南信子先生、ヴァージニア・ディター先生の、ライザー先生を偲ぶ文章も転載され、1回生による「お墓を訪ねても載せられています。

また、小林氏から今年2月にお電話をいただき「ライザー先生が叙勲された折に、香淳皇后さまへ原著の『盆栽の松』を贈呈されましたので、日本語訳のこの『盆栽の松』を皇室の図書館へ、お手紙を添えて送られたところ、お礼の連絡があった」という報告をいただきましたので、皆さまにお伝えいたします。

同窓生の皆さまには、ぜひお読みいただきたいと存じます。そしてご友人やお知り合いの方に紹介（プレゼント）ください。

なお、小林惠子氏のご好意により売上金はすべて北陸学院へ寄付されることもお覚えください。

同窓会事務局で取り扱っております。定価1,800円（送付の場合は2,200円）です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2012年度分報告(2012.5.12～2013.3.31)

項目	冊数	備考
預かり冊数	800冊	
販売冊数	170冊	170冊×1,800円=306,000円
献本	2冊	北陸学院大学図書館及び中高図書館へ
小林氏へ	16冊	2012年度総会出席交通費と相殺
残数	612冊	(188冊処理済)

○2013年3月29日に305,083円を北陸学院へ小林氏の寄付金として納入した。
[306,000円-917円(必要経費：振込手数料等)=305,083円]

■編集後記 今年多くの皆様のご協力により「栄光台の薰風第13号」を発行できますことを、心より感謝いたします。お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました先生方や同窓生の皆様には、厚くお礼申し上げます。この会報が皆様と母校とを、また同窓の皆様同士を繋ぐものとなりますことを願っております。今後ともお力添えのほどよろしくお願ひいたします。

編集委員：小川和子 三田陽子 敷波智子

2013年7月1日発行

発行：北陸学院大学同窓会
〒920-1396 新潟市三小牛町11番地
ライザー記念館内

TEL&FAX 076-280-3830

E-mail:jcog@hokurikugakuin.ac.jp

URL: http://www.hokurikugakuin.ac.jp

印刷：能登印刷株式会社